

東京オリンピックに向けた ホストタウンとしての取り組み

南会津町 ∞ アルメニア共和国

大会ホストタウン
シリーズ7

アルメニアに関わる「世界初」
をご存じですか？

■ 国教としている宗教は？

キリスト教を主としています。紀元301年に世界で初めて、キリスト教を国教としたことで有名です。アルメニア共和国には世界遺産が3件あり、その全てがキリスト教に関連する教会や修道院です。

【アルメニア共和国の世界遺産】

- ① ハフパトとサナヒンの修道院群（1996、2000年登録）
- ② ゲハルト修道院とアザート川上流域（2000年登録）
- ③ エチミアツインの大聖堂と教会群およびズヴァルトノツの古代遺跡（2000年登録）

■ 学校での教育は？

日本とは異なり、小学校4年・中学校5年・高等学校3年の教育課程が採用されています。学期は9月1日から始まり、2学期制。義務教育の段階からIT教育に力を入れています。

【チェスを活用した教育】

世界で初めて「チェス」を義務教育に取り入れています。「チェス」の授業を通じて、「先を読む力」や「考える力」を養っています。

■ 使用される通貨は？

アルメニア共和国の通貨は「ドラム」という単位が使用されています。1ドラムは日本円で0.22円です（5月20日現在）。

日本では、2024年から新しい紙幣の発行が予定され、新一万円札には「渋沢栄一」氏が描かれることが決まりました。渋沢氏は、日本初の銀行を設立したことなどで有名ですが、国際的な人道支援に取り組んだ最初の人物でもあります。初めて取り組んだ人道支援がアルメニア共和国を対象としたもので、「アルメニア難民救済委員会」を1922年に組織して寄付金を募るなど、歴史的にも深い関係があります。

今回掲載した以外にも、アルメニア共和国に関わる「世界初」のことがたくさんあります。皆さんもぜひ調べてみてください。



図書館には、日本国とアルメニア共和国の外交関係樹立25周年を記念し、駐日アルメニア大使館のグラント・ポゴシャン特命全権大使が出版した「アルメニアを巡る25の物語」など、アルメニア共和国にちなんだ図書があります。

【アルメニアを巡る25の物語 グラント・ポゴシャン著】

アルメニア共和国の歴史と文化のエッセンスを25のストーリーで紹介しています。2018年2月に大使から寄贈されました。